

NACHI



第125期 中間事業報告書

2006年12月1日から2007年5月31日まで

株式会社 不二越

証券コード 6474

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第125期中間期(2006年12月1日から2007年5月31日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経済環境

当中間期のがわが国経済は、一部の業界で国内の需給調整や設備投資繰り延べの動きがありました。好調な輸出を背景に企業収益が拡大し、雇用情勢の改善による内需の底上げが見られるなど、穏やかながら景気回復を持続してまいりました。また、海外におきましても、アメリカ経済が減速局面にある一方で、アジア市場の拡大、ヨーロッパ経済の回復などにより、総じて堅調に推移いたしました。

事業の経過ならびに成果

このような状況のもと、当社グループは、営業、製造、開発の各面で複合・連環型の事業の特長を活かし、世界市場において「ナチビジネス」を展開してまいりました。また、国内外で生産体制・設備を拡充し、生産性の改善、供給能力の増強にとり組み、自動車や産業機械業界の旺盛な需要に対して、高い

機能と精度、信頼性のある商品・技術を提供してまいりました。

この結果、当中間期の売上高は、926億円と前年同期とほぼ水準となりました。このうち、国内向けの売上高は618億円(前年同期比5.0%減)、海外売上高は307億円(同10.1%増)であります。

利益面につきましては、原材料、部品価格の上昇や、生産体制の拡充に伴う固定費の増加などの影響がありました。輸出採算の改善に加え、生産性の改善をはじめとしたトータルコストの低減にとり組みました結果、当中間期の営業利益は79億円と前年同期に比べ4.6%の増益、経常利益は72億円(前年同期比4.4%増)となりました。これに、特別利益として投資有価証券売却益等を計上し、中間純利益は41億円(前年同期比8億円の増益)となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、その実施を見送らせていただきたいと存じます。

今後のとり組み

今後の見通しにつきましては、産業機械業界の需要がひき続き堅調に推移すると予想されますが、一方で、自動車や電機・電子業界

の設備投資の動向が見通しにくい状況にあります。また、原油・原材料価格の高止まり、アメリカ経済の減速、為替相場の変動など、先行き不透明な要因が多く、経営をとり巻く環境は予断を許さない状況にあります。

こうした状況下で、当社グループといたしましては、経営のあらゆる面で連環を強化し、安定した収益基盤の確立に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらないご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年8月

代表取締役社長

井村 健輔

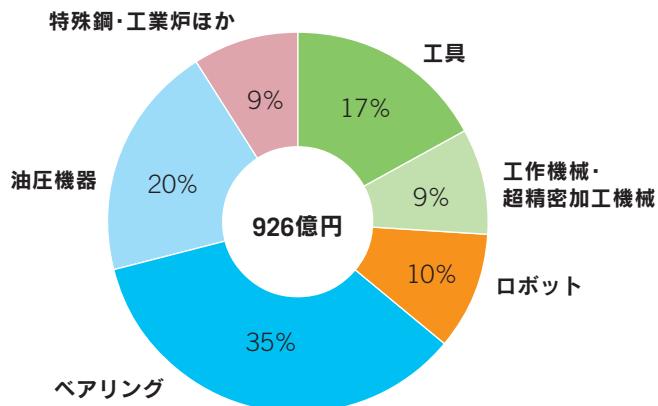


表紙のデザインについて

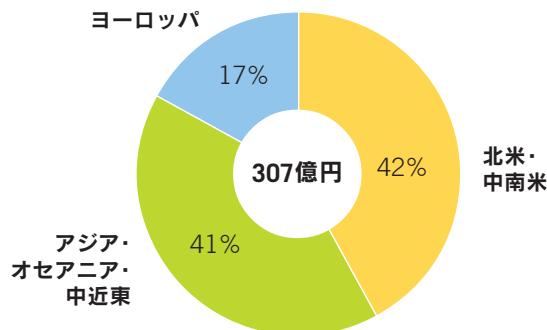
三角形は、社名に込められた企業理念、「不二、正反合」を表しています。

業績(連結)の推移

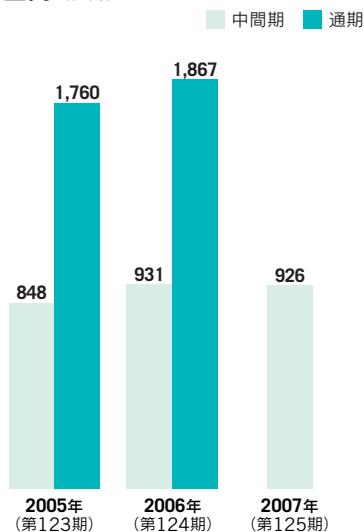
商品別の売上高構成



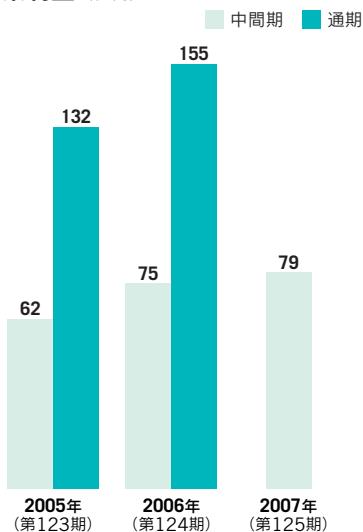
地域別の海外売上高構成



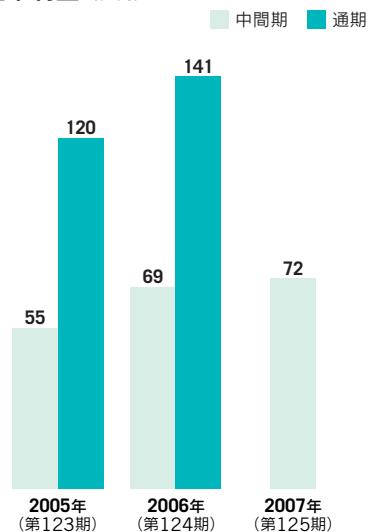
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



財務諸表の要旨

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (2007年5月31日現在)	前中間期 (2006年5月31日現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	91,116	82,438
現金及び預金	16,133	9,295
受取手形及び売掛金	41,412	38,681
たな卸資産	29,164	29,413
その他	4,405	5,048
固 定 資 産	99,006	90,843
有形固定資産	77,182	69,301
建物及び構築物	24,491	20,975
機械装置及び運搬物	41,368	37,936
土地	7,576	7,098
その他	3,746	3,290
無形固定資産	398	448
投資その他の資産	21,425	21,093
資 産 合 計	190,123	173,282

科 目	当中間期 (2007年5月31日現在)	前中間期 (2006年5月31日現在)
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	94,101	94,975
支払手形及び買掛金	36,442	37,284
短期借入金	36,144	33,160
未払費用	9,017	9,244
その他	12,498	15,286
固 定 負 債	37,836	28,716
社債及び長期借入金	24,896	15,123
退職給付引当金	7,687	8,506
その他	5,253	5,087
負 債 合 計	131,938	123,692
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	52,113	45,651
資 本 金	16,074	16,074
資 本 剰 余 金	11,455	11,444
利 益 剰 余 金	24,772	18,274
自 己 株 式	△189	△142
評 価 ・ 換 算 差 額 等	3,868	2,700
少 数 株 主 持 分	2,201	1,238
純 資 産 合 計	58,184	49,590
負 債 純 資 産 合 計	190,123	173,282

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (2006年12月1日から 2007年5月31日まで)	前中間期 (2005年12月1日から 2006年5月31日まで)
売 上 高	92,657	93,118
営 業 利 益	7,923	7,572
経 常 利 益	7,230	6,927
特 別 利 益	907	78
特 別 損 失	364	1,041
税金等調整前中間純利益	7,772	5,965
中 間 純 利 益	4,176	3,373

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (2006年12月1日から 2007年5月31日まで)	前中間期 (2005年12月1日から 2006年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,051	5,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,589	△10,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,417	3,408
現金及び現金同等物の増減額	3,097	△858
現金及び現金同等物の期首残高	12,643	9,231
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,740	8,598

中間連結株主資本等変動計算書 当中間期(2006年12月1日から2007年5月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	株主資本				評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
2006年11月30日 残高	16,074	11,452	22,548	△157	49,918	7,531	△4,247	3,283	1,656	54,859
中間連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△1,989		△1,989					△1,989
中間純利益			4,176		4,176					4,176
自己株式の取得				△31	△31					△31
自己株式の処分		3		3	6					6
持分法適用関連会社から連結子会社への異動に伴う増減			15	△3	12					12
その他の			21		21					21
株主資本以外の項目の中間連結会計年度中の変動額(純額)						△214	799	584	545	1,129
中間連結会計年度中の変動額合計	-	3	2,223	△31	2,195	△214	799	584	545	3,324
2007年5月31日 残高	16,074	11,455	24,772	△189	52,113	7,316	△3,447	3,868	2,201	58,184

中間個別貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(2007年5月31日現在)	(2006年5月31日現在)
(資 産 の 部)		
流動資産	56,892	53,439
固定資産	95,470	88,365
有形固定資産	57,954	51,269
無形固定資産	296	336
投資その他の資産	37,220	36,759
資産合計	152,363	141,805
(負 債 の 部)		
流動負債	70,565	73,911
固定負債	31,803	21,663
負債合計	102,368	95,574
(純 資 産 の 部)		
株主資本	42,815	39,175
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,455	11,444
利益剰余金	15,453	11,782
自己株式	△168	△126
評価・換算差額等	7,179	7,055
純資産合計	49,994	46,231
負債純資産合計	152,363	141,805

中間個別損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(2006年12月1日から 2007年5月31日まで)	(2005年12月1日から 2006年5月31日まで)
売上高	74,489	76,784
営業利益	5,332	5,843
経常利益	5,179	5,479
特別利益	836	88
特別損失	374	440
税引前中間純利益	5,641	5,126
中間純利益	3,016	3,189

トピックス

Topics1 エンジニアリングビジネスを強化

ナチエンジニアリングを開設

切削工具の再研削・再コーティング、ロボットのメンテナンスをはじめとした、エンジニアリングサービス拠点を新設。カスタマーの工程に適した工具や加工法を提案する質の高いコンサルティングも実施します。
(神奈川県綾瀬市 2007年5月)



世界市場で機械加工のエンジニアリング事業を拡充

那智不二越(上海)精密工具有限公司 (中国上海市)

NACHI Precision North Carolina Inc. (米・ノースカロライナ州)

Topics2 材料技術の開発をすすめる

「R&Dマテリアル」を新設

材料・熱処理・コーティングの研究開発拠点を東富山事業所に集約し、拡充。マグネシウム合金など新素材の開発や用途開拓を促進します。

(東富山事業所 2007年5月)



Topics3 アライアンスの拡がり

不二越と三協立山アルミがマグネシウム合金の広幅薄板コイルを協同開発



両社のもつ押出成形技術、薄板圧延加工技術を融合し、マグネシウム合金の高品位な薄板プレス製法を可能にしました。電機・電子、IT業界をはじめ自動車や、産業機械など幅広い分野で、マグネシウム合金の市場拡大を図ります。
(2007年5月)

不二越と住友電工ハードメタルが協同開発したSymbio「GS MILLシリーズ」がモノづくり部品大賞「機械部品賞」を受賞



ものづくりの現場で欠かせない世界標準工具として、生産性と省資源・省エネルギーにすぐれたSymbio GS MILLシリーズが高い評価を得ました。モールドマイスターボール、モニタリングスイッチ付電磁切換弁に続き3年連続の受賞。

(日刊工業新聞社主催 2007年3月)



不二越と東北大学が特殊鋼の製造方式を革新

世界最高の硬さをもつ極細線を協同開発

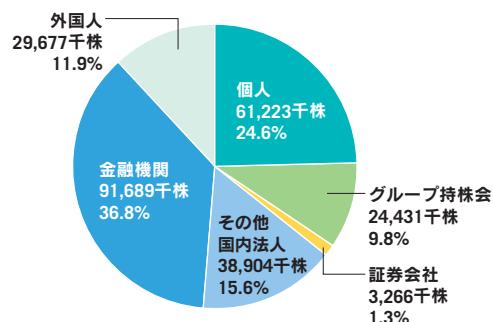
東北大学が開発した炭化物分散浸炭理論(CDC法)と、不二越の高硬度極細線(ミクロンハード)製造技術を融合。機械・電子部品に加え、カテーテルガイドワイヤをはじめとした医療用部品など幅広い分野において、「CDCプロセス・ミクロンハード」の用途開拓をすすめます。
(2007年1月)

株式の状況 (2007年5月31日現在)

発行済株式の総数 249,193,436株
 株主数 33,188名
 大株主(上位6名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,978	5.61
トヨタ自動車株式会社	13,182	5.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,140	4.87
株式会社三菱東京UFJ銀行	11,888	4.77
那智わねい持株会	10,746	4.31
ナチ不二越従業員持株会	10,543	4.23

所有者別の株式分布



役員 (2007年8月現在)

代表取締役社長	井村 健 輔	常務取締役	石 黒 健 治	取締役	山 田 寛
代表取締役副社長	本 間 博 夫	常務取締役	中 河 清	取締役	取 締 役 荻 野 肇 一
代表取締役副社長	長 尾 正 弥 *	取締役	本 林 理 郎		
常務取締役	笠 原 英 紀	取締役	佐々木 誠	常勤監査役	中 野 直 人
常務取締役	田 中 幸 彦	取締役	寺 越 秀 夫 *	常勤監査役	佐 口 厚 生
常務取締役	飛弾野 文 英	取締役	髭右近 正 幸	常勤監査役	明 石 光 生
常務取締役	柴 功 安	取締役	金 子 善 四 郎 *	監査役	福 島 栄 一

*は、社外取締役、社外監査役を表します。

会社の概要

設立 1928年12月21日
資本金 160億円
従業員数 2,730名(グループ人員5,700名)
主要な事業内容 機械工具事業 切削工具、塑性加工工具、切断工具、精密金型、工作機械、超精密加工機械、機械加工システム
 ロボット事業 ロボットシステム、電子機器
 機能部品事業 ヘアリング、油圧機器、カーコントロールバルブ、免震システム
 材料・熱処理事業 特殊鋼、コーティング、工業炉、その他

主な国内事業所

富山本社	富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511	Tel.076-423-5111
東京本社	東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル17F) 〒105-0021	Tel.03-5568-5111
東日本支社	東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル17F) 〒105-0021	Tel.03-5568-5280
中日本支社	名古屋市中東区高社2-120-3(ナチ名古屋ビル) 〒465-0095	Tel.052-769-6811
西日本支社	東大阪市本庄西2-3-7(ナチ大阪ビル) 〒578-8522	Tel.06-6748-2510
富山事業所	富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511 [工具・工作機械 ロボット ヘアリング]	Tel.076-423-5111
東富山事業所	富山市米田町3-1-1 〒931-8511 [特殊鋼]	Tel.076-438-4411
	富山市中田3-2-1 〒931-8453 [油圧機器]	Tel.076-438-8970
滑川事業所	滑川市大掛176 〒936-0802	Tel.076-471-2101
	[プレジジョン カーハイドロリクス 工業炉 コーティング 精密成形]	

主な国内子会社

株式会社ナチ関西東	東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル17F) 〒105-0021	Tel.03-5568-5190
株式会社ナチ関西西	東大阪市本庄西2-3-7(ナチ大阪ビル) 〒578-8522	Tel.06-6748-2530
株式会社ナチ東海	名古屋市中東区高社2-120-3(ナチ名古屋ビル) 〒465-0095	Tel.052-769-6911
株式会社ナチ常盤	東京都港区浜松町2-1-17(松永ビル5F) 〒105-0013	Tel.03-3437-1631

株式メモ

証券コード	6474
基準日	定時株主総会の議決権 11月30日 期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
定時株主総会	2月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 ☎0120-78-2031
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店、全国各支店
株式名義書換手数料	無料
ホームページアドレス	http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/

単元未満株式の買い増し請求のご案内

当社は、「単元未満株式の買い増し制度」を導入しています。単元未満株式(1,000株未満)をご所有の株主様が、単元株式数(1,000株)にするための不足分を買い増しいただける制度です。

また単元未満株式の売却を希望される株主様につきましては、買取請求ができません。

お手続きの詳細につきましては、左記の株主名簿管理人までお問い合わせください。

(株券保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社にお問い合わせください。)

不二越、不思議。Art in NACHI

わくわくする技術、それはアート。

“Art”を辞書でひくと 芸術、技術、技芸という意味があります。

鍛え抜かれた肉体、高い精神から創り出される“技(わざ)”。演じるすべてがアートでありたい。

造る、回す、走る技術。something(何か)を生み出す “ものづくりの不二越、不思議。”

私たちは Art in NACHI を提案してまいります。

NACHI